



2023年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月5日

上場会社名 株式会社イオンファンタジー 上場取引所 東
 コード番号 4343 URL <https://www.fantasy.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 徳也
 問合せ先責任者(役職名) 取締役兼常務執行役員 管理統括兼 (氏名) 井関 義徳 (TEL) 043 (212) 6203
 リスクマネジメント担当
 四半期報告書提出予定日 2022年10月14日 配当支払開始予定日 2022年10月31日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年2月期第2四半期の連結業績(2022年3月1日~2022年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年2月期第2四半期	35,079	24.4	296	—	1,331	—	△316	—
2022年2月期第2四半期	28,193	72.1	△2,579	—	△2,862	—	△3,501	—

(注) 包括利益 2023年2月期第2四半期 △521百万円(—%) 2022年2月期第2四半期 △3,464百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年2月期第2四半期	△16.00	—
2022年2月期第2四半期	△177.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年2月期第2四半期	54,124	11,221	20.3
2022年2月期	51,235	11,841	22.8

(参考) 自己資本 2023年2月期第2四半期 10,998百万円 2022年2月期 11,692百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年2月期	—	15.00	—	5.00	20.00
2023年2月期	—	5.00			
2023年2月期(予想)			—	15.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年2月期の連結業績予想(2022年3月1日~2023年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,900	31.1	2,600	—	1,700	—	400	—	20.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年2月期2Q	19,768,825株	2022年2月期	19,768,825株
2023年2月期2Q	1,875株	2022年2月期	1,743株
2023年2月期2Q	19,767,012株	2022年2月期2Q	19,762,929株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は2022年4月に、「こどもたちの夢中を育み、“えがお”あふれる世界をつくる。」というパーパスを制定いたしました。同時に、サステナビリティ方針も制定し、持続可能な社会への貢献と企業価値向上の実現に向け、事業活動を推進しております。

当第2四半期連結累計期間（2022年3月1日～2022年8月31日）における当社及び連結子会社の連結業績は、売上高が350億79百万円（前年同期比24.4%増）となりました。営業利益は2億96百万円（前年同期営業損失25億79百万円）、経常利益は13億31百万円（前年同期経常損失28億62百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億16百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失35億1百万円）となりました。各国為替レートが円安に進み、為替差益を営業外収益に12億58百万円計上しております。連結業績における前年同期からの改善額は、営業利益28億76百万円、経常利益41億94百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失31億85百万円の大幅な改善となりました。

国内事業は好調なプライズ部門が引き続き業績を牽引いたしました。アセアン事業は各国、堅調に推移しております。中国事業はゼロコロナ政策による行動規制が継続し、厳しい経営環境となりました。

店舗数については、当第2四半期連結累計期間での新規出店60店舗、閉店19店舗となり、2022年8月末時点で国内549店舗、海外432店舗、合計981店舗（直営店971店舗、F C等10店舗）となりました。

(国内事業)

国内事業は第1四半期連結会計期間より順調に回復しておりましたが、全国的に新型コロナウイルスの感染者が大幅に増加した7月下旬から客数が減少傾向となりました。営業面では時短営業を余儀なくされる店舗が一部で発生するなどの影響も受けましたが、8月中旬より徐々に回復基調となりました。その結果、当第2四半期連結会計期間の営業利益は7億64百万円となり、前第4四半期連結会計期間から3四半期連続で黒字を確保しました。第2四半期連結会計期間における営業利益の黒字化は3年ぶりとなります。

主力のプライズ部門では、映画関連商材や当社限定景品が堅調に推移し、同部門の当第2四半期連結累計期間の売上高既存店前年同期比116.4%と全体の売上を牽引いたしました。

出店を加速させているカプセルトイ専門店「TOYS SPOT PALO」は、当第2四半期連結累計期間において新規に30店舗出店し、累計店舗数は111店舗となりました。同期間におけるカプセルトイ部門の売上高前年同期比は170.3%（2019年同期比541.3%）となり拡大を続けております。

フルデジタル化の取組みとして強化している当社の会員制度「モーリーフレンズDX」は会員数が56万人を突破いたしました。

当第2四半期連結累計期間は、モーリーファンタジーを5店舗出店、その他カプセルトイ専門店とプライズ専門店を計39店舗新規出店する一方、不採算店舗等10店舗（直営店9店舗、F C 1店舗）を閉店し、2022年8月末ではF C 1店舗を含め549店舗となりました。ニトリモールに初出店するなど、イオングループ外物件への出店を強化しております。

以上の結果、国内事業における当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高283億82百万円（前年同期比19.7%増）、営業利益8億8百万円（前年同期営業損失15億95百万円）となりました。

(中国事業)

中国事業は上海や北京といった大都市を中心としたゼロコロナ政策によるロックダウン規制や厳しい行動規制が拡大しており、国民の外出自粛の影響を受けた結果、客数の回復には至らず当第2四半期連結会計期間の売上高既存店2019年同期比は58.3%と厳しい結果となりました。

新規の取組みとして、「遊び+運動」をテーマにした「莫莉游育運動館」を武漢にオープンいたしました。中国では子どもの運動不足が社会問題化し受験の科目に体育が追加されるなど、運動に対する保護者のニーズが高まっており、好調なスタートとなりました。

新規の取組みとして、TikTok等のSNSの動画を視聴しながらそのまま商品を購入できる販売方法が中国国内で急速に拡大している背景から、当社のアプリを使用したライブ販売を開始いたしました。

当第2四半期連結累計期間においては、直営3店舗、FC1店舗を新規出店する一方、不採算店舗等6店舗を閉店し、2022年8月末の店舗数はFC6店舗を含め197店舗となりました。

以上の結果、中国事業における当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高26億13百万円（前年同期比34.6%減）、営業損失11億96百万円（前年同期営業損失4億69百万円）となりました。

（アセアン事業）

アセアン事業では、過去最高益となった第1四半期連結会計期間からのトレンドが継続し堅調に推移いたしました。当第2四半期連結会計期間の営業利益は3億52百万円となり、前第4四半期連結会計期間から3四半期連続で営業利益の黒字を達成いたしました。第2四半期連結累計期間としても過去最高益となりました。

特に好調なフィリピンでは当第2四半期連結会計期間の売上高は5億96百万円、売上高既存店2019年同期比128.2%と好調で、営業利益は1億73百万円となりました。フィリピンの他、マレーシア、インドネシア、ベトナムの計4カ国で営業利益は黒字となりました。規制緩和が遅れていたタイも、利用時間制限を解除したことで客単価が向上し、順調に回復しております。

新規の取組みとして、マレーシアではカプセルトイ専門店を8月に1店舗オープンいたしました。海外でのカプセルトイ専門店の出店は初となります。

当第2四半期連結累計期間は、12店舗を新規出店する一方、不採算店舗3店舗を閉店し、2022年8月末の店舗数はFC3店舗を含め235店舗となりました。

以上の結果、アセアン事業における当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高40億84百万円（前年同期比663.1%増）、営業利益6億85百万円（前年同期営業損失5億13百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、142億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億14百万円増加いたしました。主な内訳は、現金及び預金の増加（18億69百万円）、売上預け金の増加（12億88百万円）であります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、398億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億26百万円減少いたしました。主な内訳は、減価償却が設備投資を上回ったことによる遊戯機械の減少（9億21百万円）、新規出店による建物の増加（2億94百万円）及び使用権資産の増加（1億92百万円）であります。

この結果、総資産は541億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億88百万円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、356億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億63百万円増加いたしました。主な内訳は、短期借入金の増加（28億39百万円）、買掛金の増加（8億17百万円）であります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、72億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億54百万円減少いたしました。主な内訳は、連結子会社における長期借入金の減少（4億67百万円）、長期割賦未払金の減少（2億82百万円）であります。

この結果、負債合計は429億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億8百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、112億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億20百万円減少いたしました。主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上（3億16百万円）、為替の変動に伴う為替換算調整勘定の減少（2億88百万円）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年4月8日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,008,031	7,877,546
売掛金	232,656	279,574
売上預け金	303,081	1,591,796
棚卸資産	2,207,960	2,550,221
その他	2,168,124	1,935,364
流動資産合計	10,919,854	14,234,503
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,316,819	5,611,748
遊戯機械（純額）	18,708,947	17,787,387
使用権資産（純額）	3,796,074	3,988,364
その他（純額）	2,405,244	2,333,067
有形固定資産合計	30,227,085	29,720,568
無形固定資産		
のれん	146,866	154,838
ソフトウェア	1,326,946	1,460,655
その他	4,159	3,820
無形固定資産合計	1,477,972	1,619,314
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	4,374,139	4,580,482
その他	4,236,443	3,969,234
投資その他の資産合計	8,610,583	8,549,716
固定資産合計	40,315,641	39,889,599
資産合計	51,235,496	54,124,103

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,261,480	2,078,801
短期借入金	20,201,040	23,040,820
1年内返済予定の長期借入金	2,037,420	1,766,939
1年内返済予定の長期割賦未払金	559,719	563,012
リース債務	1,746,936	1,928,096
未払費用	1,441,349	1,974,782
未払法人税等	310,981	627,695
賞与引当金	263,721	309,772
役員業績報酬引当金	10,920	29,853
閉店損失引当金	24,121	25,968
設備関係支払手形	682,294	883,497
その他	2,969,412	2,444,051
流動負債合計	31,509,396	35,673,291
固定負債		
長期借入金	1,779,408	1,311,485
長期割賦未払金	2,207,469	1,925,137
リース債務	2,501,834	2,597,000
退職給付に係る負債	199,989	191,162
資産除去債務	928,810	973,703
その他	266,815	230,936
固定負債合計	7,884,328	7,229,426
負債合計	39,393,725	42,902,718
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,806,987	1,806,987
資本剰余金	4,825,630	4,825,630
利益剰余金	5,477,154	5,062,076
自己株式	△3,704	△4,009
株主資本合計	12,106,068	11,690,684
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△364,491	△652,545
退職給付に係る調整累計額	△49,145	△39,203
その他の包括利益累計額合計	△413,636	△691,749
新株予約権	31,437	31,437
非支配株主持分	117,901	191,012
純資産合計	11,841,771	11,221,385
負債純資産合計	51,235,496	54,124,103

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年8月31日)
売上高	28,193,720	35,079,745
売上原価	28,291,813	31,835,914
売上総利益又は売上総損失(△)	△98,093	3,243,831
販売費及び一般管理費	2,481,729	2,947,152
営業利益又は営業損失(△)	△2,579,822	296,678
営業外収益		
受取利息	40,105	32,158
為替差益	—	1,258,963
受取保険金	9,709	21,988
固定資産売却益	427	144
預り金受入益	11,876	4,256
リース解約益	24,459	17,791
増値税還付金	—	14,097
その他	25,869	27,734
営業外収益合計	112,448	1,377,135
営業外費用		
支払利息	336,296	306,937
為替差損	16,694	—
固定資産売却損	22,528	10,407
その他	19,915	25,214
営業外費用合計	395,435	342,560
経常利益又は経常損失(△)	△2,862,810	1,331,254
特別利益		
雇用調整助成金	174,166	31,901
協力金収入	124,419	—
特別利益合計	298,585	31,901
特別損失		
閉店損失引当金繰入額	42,533	12,996
減損損失	172,023	79,342
店舗閉鎖損失	15,784	8,302
店舗休止損失	1,151,184	715,035
災害による損失	—	15,039
特別損失合計	1,381,527	830,716
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,945,751	532,439
法人税、住民税及び事業税	108,226	461,469
法人税等調整額	△493,173	323,836
法人税等合計	△384,947	785,306
四半期純損失(△)	△3,560,804	△252,866
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△58,919	63,376
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,501,885	△316,242

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年8月31日)
四半期純損失(△)	△3,560,804	△252,866
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	86,336	△278,319
退職給付に係る調整額	10,275	9,941
その他の包括利益合計	96,611	△268,378
四半期包括利益	△3,464,193	△521,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,412,674	△594,355
非支配株主に係る四半期包括利益	△51,518	73,110

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,945,751	532,439
減価償却費	5,341,075	5,073,925
固定資産除売却損益(△は益)	35,272	31,051
賞与引当金の増減額(△は減少)	△33,817	35,969
受取利息	△40,105	△32,158
支払利息	336,296	306,937
為替差損益(△は益)	16,694	△1,258,963
受取保険金	△9,709	△21,988
リース解約益	△24,459	△17,791
雇用調整助成金	△174,166	△31,901
協力金収入	△124,419	—
減損損失	172,023	79,342
災害による損失	—	15,039
売上債権の増減額(△は増加)	△20,694	△44,912
売上預け金の増減額(△は増加)	151,286	△1,286,794
棚卸資産の増減額(△は増加)	△263,816	△271,262
仕入債務の増減額(△は減少)	485,689	800,032
その他	△895,731	△963,590
小計	1,005,669	2,945,373
利息の受取額	19,068	11,441
利息の支払額	△359,352	△313,539
雇用調整助成金の受取額	22,116	31,901
協力金収入の受取額	82,040	—
法人税等の支払額	△303,159	△116,014
営業活動によるキャッシュ・フロー	466,382	2,559,162
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,398,074	△2,074,805
有形固定資産の売却による収入	7,121	10,477
無形固定資産の取得による支出	△316,592	△274,136
長期前払費用の増加による支出	△33,178	△26,139
敷金及び保証金の差入による支出	△81,945	△185,469
敷金及び保証金の回収による収入	83,001	99,660
その他	△24,452	△48,211
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,764,121	△2,498,623
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,635,330	3,947,644
長期借入金の返済による支出	△1,207,069	△1,126,087
配当金の支払額	△296,406	△98,835
リース債務の返済による支出	△781,739	△960,846
割賦債務の返済による支出	—	△279,038
その他	△295	△305
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,349,819	1,482,531
現金及び現金同等物に係る換算差額	△52,029	324,764
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	51	1,867,834
現金及び現金同等物の期首残高	5,718,115	5,986,843
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,718,166	7,854,678

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、海外子会社等に対する遊戯機械等の代理調達に係る収益について、従来は顧客から受け取る対価の総額で収益を認識しておりましたが、顧客への財又はサービスの提供における役割(本人又は代理人)を判断した結果、顧客から受け取る額から仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しておりますが、当該期首残高に与える影響はありません。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高及び売上原価に与える影響は軽微であり、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(重要な会計上の見積り：固定資産の減損)

当第2四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した「重要な会計上の見積り：固定資産の減損」について、以下のとおり仮定の一部を変更しております。

将来キャッシュ・フローの見積りにおいて、中国の店舗については、新型コロナウイルス感染症の影響による政府規制を考慮し、売上高の回復時期について見直しを行っておりますが、売上高が2023年2月期連結会計年度中に回復する見込については変更はございません。また、国内とアセアンの店舗については、将来キャッシュ・フローの見積りにおける仮定の変更はございません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	国内	中国	アセアン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,663,572	3,994,952	535,194	28,193,720	—	28,193,720
セグメント間の内部売上高 又は振替高	56,909	—	—	56,909	△56,909	—
計	23,720,482	3,994,952	535,194	28,250,629	△56,909	28,193,720
セグメント損失(△)	△1,595,989	△469,977	△513,066	△2,579,033	△789	△2,579,822

(注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、「国内」セグメント2,194千円、「中国」セグメント109,263千円、「アセアン」セグメント60,566千円の減損損失を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	国内	中国	アセアン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,381,762	2,613,976	4,084,006	35,079,745	—	35,079,745
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,222	—	—	1,222	△1,222	—
計	28,382,984	2,613,976	4,084,006	35,080,967	△1,222	35,079,745
セグメント利益又は損失(△)	808,099	△1,196,631	685,232	296,699	△21	296,678

(注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、「国内」セグメント9,666千円、「中国」セグメント52,424千円、「アセアン」セグメント17,250千円の減損損失を計上しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計方針の変更)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの売上高の算定方法を同様に變更しております。

なお、当該変更による各事業セグメントの売上高に与える影響は軽微であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。